

次世代の情報漏洩対策ソリューション

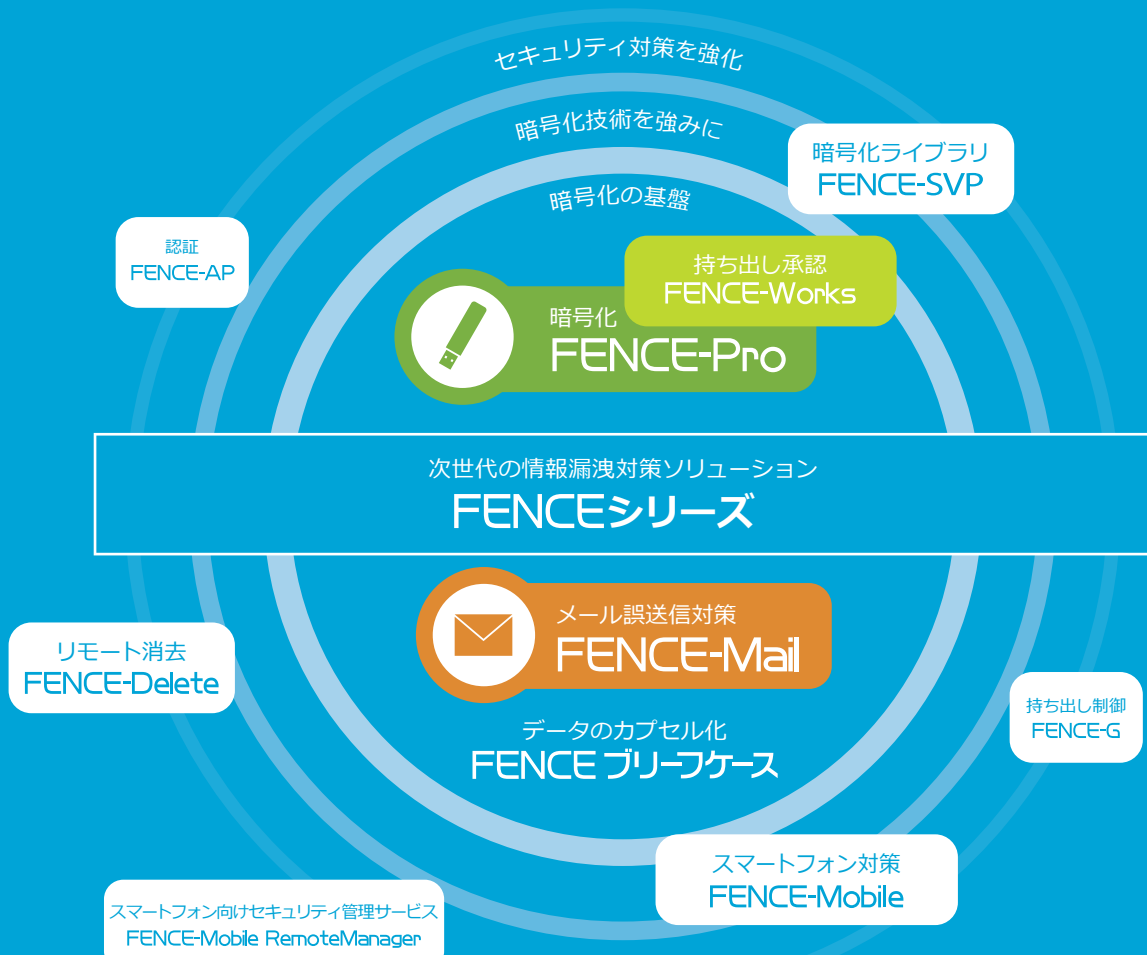
# FENCE

データのカプセル化で  
セキュリティが変わる



# 暗号化技術をベースとした 情報セキュリティソフトウェア 「FENCE」シリーズ。

世の中に氾濫するセキュリティ製品。多くの企業が対策をしているなか、情報漏洩事故が後を絶たないのが実状です。そこでご提案するのが、優れた暗号化技術をベースにしたセキュリティソリューション、FENCEシリーズ。暗号化の中軸を担う**FENCE-Pro**、**FENCE-Mail**をはじめ、FENCE-Works、FENCE-SVP、FENCE-Mobile、FENCE-Mobile RemoteManager、FENCE-Delete、FENCE-AP、FENCE-Gといった、セキュリティ対策におけるニーズに合わせたさまざまな製品を取り揃えています。



さらに、データの持ち出し先や送信先においても暗号化を保持できる“カプセル化”を実現したのが**FENCEブリーフケース**です。社内・社外などの環境やOSを問わず、どこでもファイルを暗号化された状態のまま利用できます。

## データのカプセル化 FENCEブリーフケース

会社から一歩外に出たデータ、しっかり守れますか？

- 自宅に社員が持ち帰った暗号化ファイル、復号した後デスクトップに残ったり・・・
- 取引先に送った暗号化ファイル、先方で復号した後の行方は・・・
- 社員がUSBメモリで持ち出した暗号化ファイル、途中で紛失するかも・・・
- 社員が社内で復号した平文、見てはいけない人が見ることも・・・

従来のセキュリティでは、社内のデータはしっかりと保護できていても、いったん外部に持ち出されたデータには無防備になりがち。

ファイルは常に暗号化された状態のまま、閲覧・編集が可能。  
多様化するワーク・スタイルにも対応します。

### ■ 持ち出し先や送信先でも安心

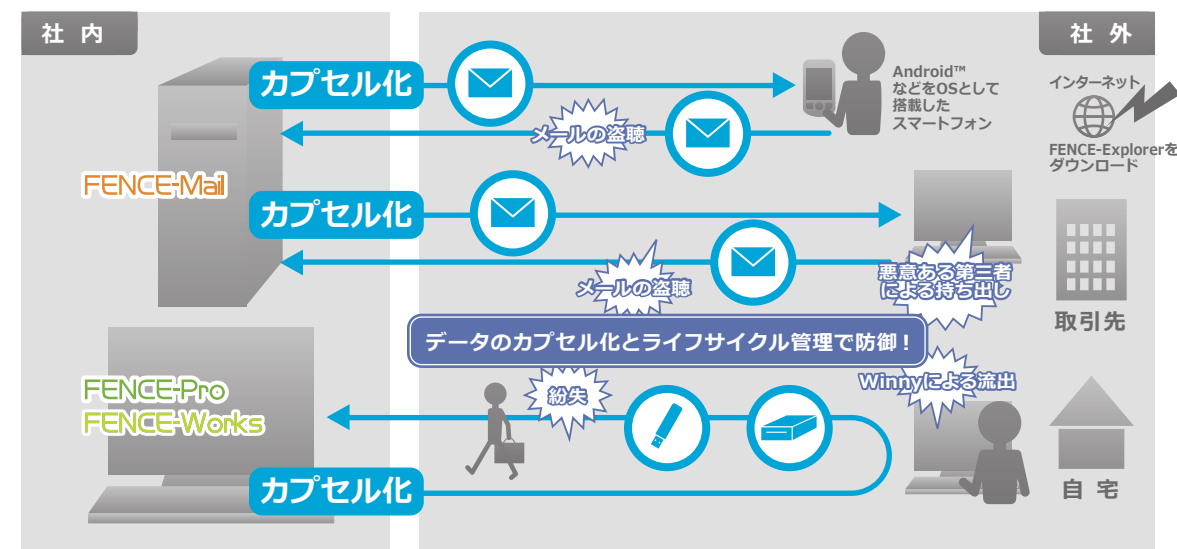
FENCEブリーフケースをUSBメモリなどの外部デバイスに格納して持ち帰り、自宅のPCで編集・更新する際、あるいはメールで取引先等に送信する際に、復号の必要が無いのでデスクトップなどに平文が残る心配がありません。また、通勤途中でUSBメモリを紛失しても安心です。

### ■ さまざまな環境でアクセス可能

FENCEブリーフケースは、Windows®などが動作するパソコンはもちろん、Android™やWindows® Mobileなどが動作するスマートフォンでも閲覧・編集が可能です。さまざまな環境上での安全なファイル共有に適しています。

### ■ データのライフサイクル管理

FENCEブリーフケースの作成時に、有効期限を設定できます。有効期限を過ぎている場合は、アクセスした際に自動的に削除されるので、重要なデータがいつまでも残る危険がありません。また、長期間データを利用する際にはパスワード変更機能が有効です。データのカプセル化とともにライフサイクルを管理することで、データの安全性が保たれます。



### ■ アクセシビリティ対応

FENCEブリーフケースを閲覧・編集するためのツール、FENCE-Explorerを無償で提供しています。普段使い慣れたツール同様の操作性で、暗号化された電子文書へのアクセスが可能です。

# PC内も、外部デバイスも、共有フォルダも。 環境にとらわれないデータの暗号化を実現する 「FENCE-Pro」。

大切な情報資産を守るには、第三者に読ませないことが基本。堅固な暗号化こそがセキュリティでは大切です。FENCE-ProでFENCEブリーフケースを作成し、データをカプセル化することにより、安全で自由なセキュリティ環境を創造します。またFENCE-Proの導入で、シームレスな環境、暗号化・復号を意識せずに利用できる利便性の高いトータル・セキュリティ・ソリューションを実現します。



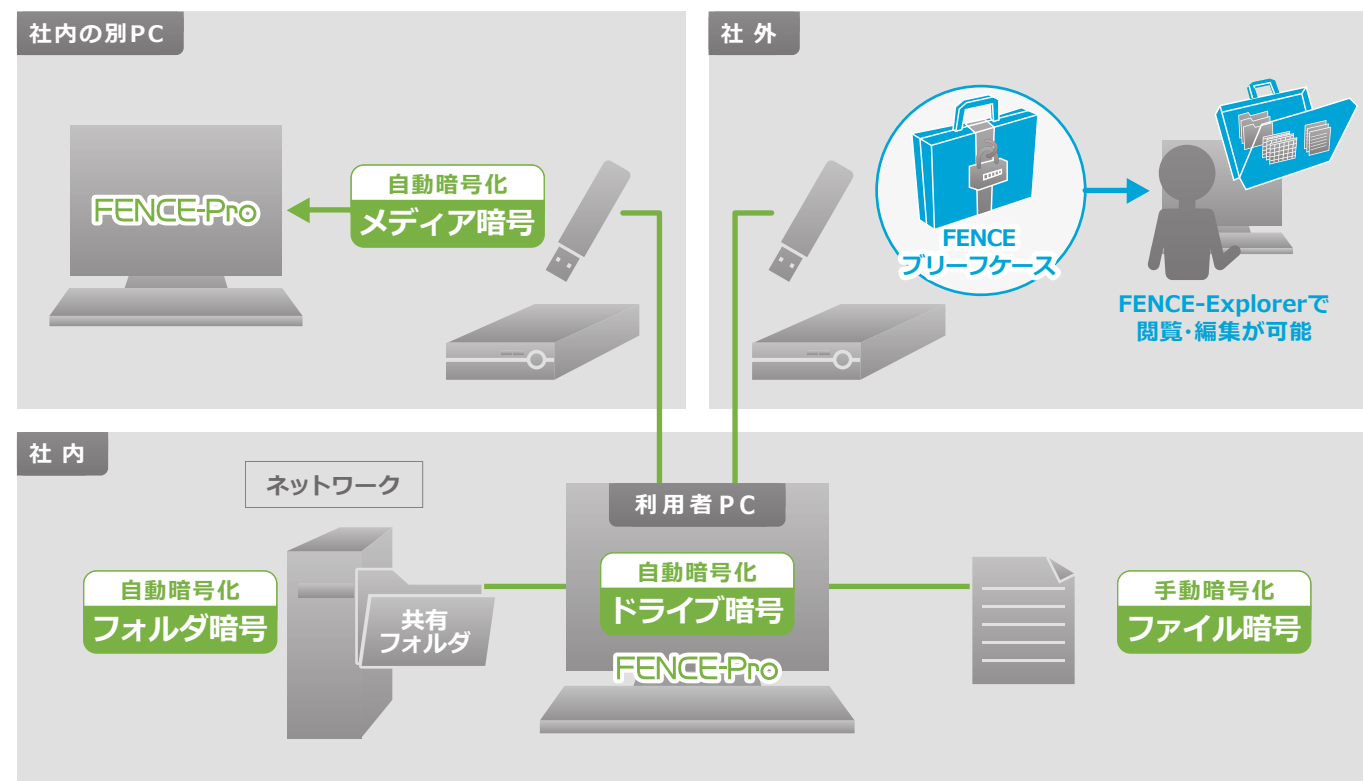
## 利用者のメリット

### ■ フォルダ暗号

暗号対象のフォルダを設定すると、その中に保存されるファイルをリアルタイムに暗号化。ネットワーク上の共有フォルダにおいて、利用者は特別な操作を必要とせずに暗号化が可能です。

### ■ ファイル暗号

複数のファイルを圧縮された1つの暗号化ファイルに変換します。暗号鍵形式や、FENCE-Proが導入されていない環境でも復号できるパスワード付きの自己復号形式へも変換可能です。



### ■ その他の暗号化方式

デスクトップやマイドキュメントなどの暗号化されていないフォルダをはじめとした、ローカルドライブ全体を暗号化できるドライブ暗号では、Internet Explorer®のキャッシュフォルダやOutlook®などのメールデータも保護できます。USBメモリなどの外部デバイスを自動認識し、書き出されるデータを自動暗号化するメディア暗号では、外部デバイスによって平文を持ち出す危険性を回避できます。

暗号化  
**FENCE-Pro**

## 管理者のメリット

### ■ サイレントインストール

ソフトウェアのインストール時には、シリアル番号やインストール先フォルダ名、暗号鍵など、利用者が各種設定を行う必要がなく、同じ環境設定を多数のPCに反映できます。

### ■ Active Directory®連携

Active Directory®のユーザー情報やグループ情報とポリシーを関連付けられ、一元管理できます。利用者が意識する事なく、ドメインログイン時に自動的にポリシーが適用されます。大規模な組織変更や人事異動が発生した場合でも、グループ情報のメンバー構成を変更するだけでポリシーの変更・切替が容易に行えます。

### Windows®ログオン連携

事前に利用するユーザー名と鍵を関連付けておけば、Windows®にログオンするだけで自動的に鍵が使える状態になります。

### 暗号化アルゴリズム

日本の電子政府推奨暗号リストに掲載され、また米国商務省標準技術局(NIST)が次世代標準暗号化アルゴリズムとして選定した、AESを採用しています。

### 持ち出し承認

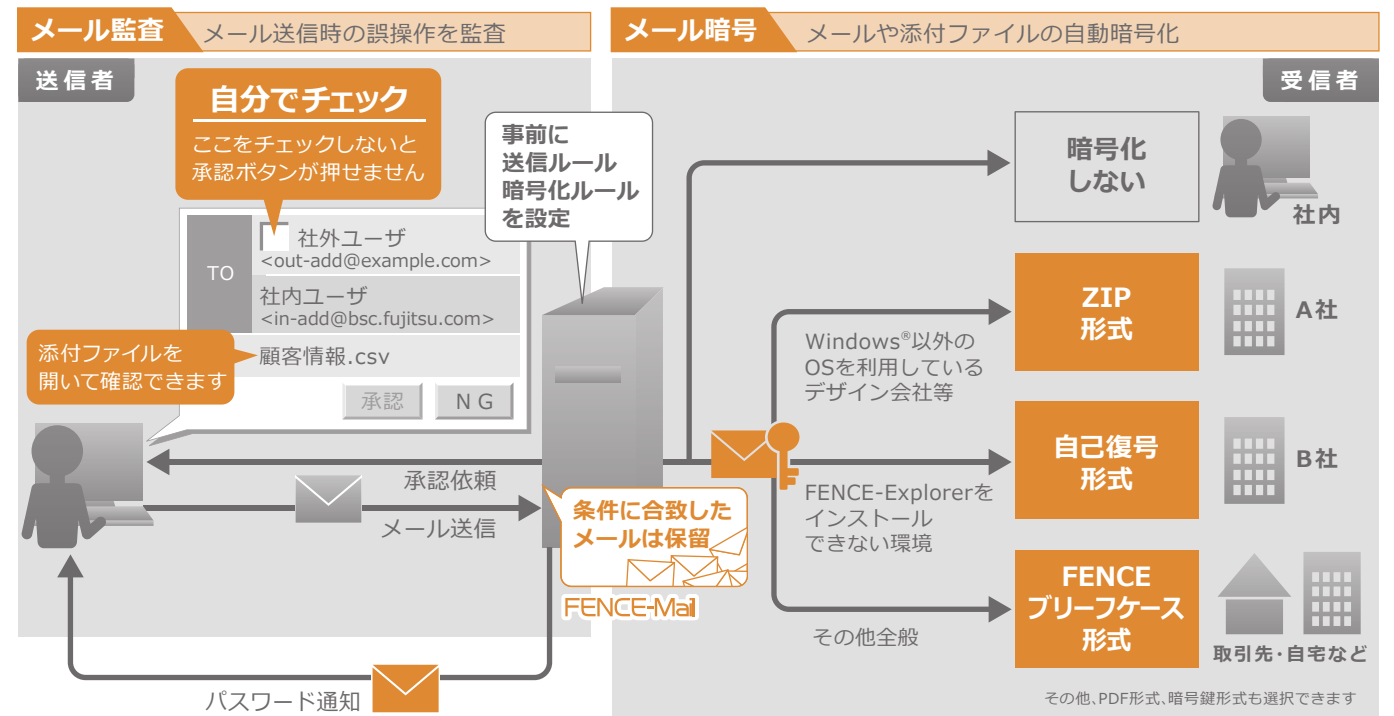
社外へ重要データをUSBメモリなどの外部デバイスに入れて持ち出す際に、上長が承認する事で自動的にFENCEブリーフケースなどの形式に暗号化する機能を実現したFENCE-Worksの提供も行っていきます。

# メールの誤送信チェックと最適な自動暗号化。

## メールからの情報漏洩を防ぐ

### 「FENCE-Mail」。

メールの誤送信による情報の漏洩は、企業にとって大きな不安要素。その対策には、メール送信時の誤操作を無くし、添付ファイルを暗号化して送信することが基本です。FENCE-Mailは、FENCEブリーフケースを作成し、メール環境においてデータのカプセル化を実現するメール誤送信対策ソフトウェアです。送信ルールによりメールを一時保留し、送信者への通知を自動で行うので、送信者が誤ったメールの送信を思いとどまることができます。また、メールや添付ファイルの暗号化も同時に行います。FENCEブリーフケースなど様々な暗号化形式の運用で、安全かつ快適なメール環境を提供します。



### 利用者のメリット

#### ■ メール送信の保留確認

送信ルールを設定することで、条件に合致したメールはサーバ上に保留されます。保留は送信者に通知され、送信するか否かを判断できます。

#### ■ メールの自動暗号化

送信者は意識せず従来と同じメール送信方法で添付ファイルやメール本文を自動的に暗号化できます。パスワードは、ランダムパスワードまたは固定パスワードの設定が可能で、送信者へ通知されます。システム設定値で受信者に自動的に伝える事もできます。

#### ■ 暗号化ルールごとのメッセージ挿入

メールのヘッダー(メール文の冒頭)に様々な文章を追加することができます。暗号化ルールごとに設定が可能のため、復号手順の案内やセキュリティ対策のアピール文など、メールの送信先に合わせて伝えたい内容を簡単かつ自動的に送信できます。

#### ■ 二重暗号化防止機能

事前に暗号化されたファイルやパスワード設定されたZIPファイルなどは、サーバ側が判断し二重で暗号化されることはありません。固定パスワードを一時的に利用するなどのコントロールも可能です。

### メール誤送信対策

# FENCE-Mail

### 管理者のメリット

#### ■ スムーズな導入

現メール環境にFENCE-Mailを追加するだけでメールの誤送信対策が簡単に実現できます。グループウェアやその他メールセキュリティシステムが導入されている環境へも影響を与えず、高い親和性を備えています。

#### ■ 組織に合わせたユーザー管理

ユーザー情報の登録、各ユーザーの権限の設定を管理画面で一元管理できます。それらの情報はCSV形式でのインポートもできるため、人事異動や組織変更などの際に煩雑な設定変更をする必要がありません。

#### ■ 柔軟性の高いポリシー管理

暗号化ルールや送信ルールなど、メールの利用用途に合わせて柔軟なポリシーの設定が可能です。また管理者が定めるポリシー範囲内で、送信者にポリシー変更を許可することもできます。

#### ■ 安全のための第三者承認

階層化されたグループの設定やグループごとの承認者・代理承認者の設定ができます。例えば、部署やプロジェクトチームなどに合わせた管理者を承認者に設定することが可能です。

**クラウドサービスの提供** FENCE-Mailはお客様のニーズに合わせて、オンプレミスでの提供のほか、クラウドサービス(SaaS)としての提供も行っています。

## ■動作環境

名称	対応OS	CPU	メモリ	HDD
FENCE-Pro	Microsoft® Windows® XP Home Edition SP2, SP3 Microsoft® Windows® XP Professional SP2, SP3	Intel® Pentium® III 865MHz 以上の プロセッサ推奨	512MB以上推奨	50MB以上の 空き容量が必要
	Microsoft® Windows Vista® Home Basic SPなし, SP1, SP2 Microsoft® Windows Vista® Home Premium SPなし, SP1, SP2 Microsoft® Windows Vista® Enterprise SPなし, SP1, SP2 Microsoft® Windows Vista® Business SPなし, SP1, SP2 Microsoft® Windows Vista® Ultimate SPなし, SP1, SP2 Microsoft® Windows® 7 Home Premium SPなし, SP1 Microsoft® Windows® 7 Professional SPなし, SP1 Microsoft® Windows® 7 Enterprise SPなし, SP1 Microsoft® Windows® 7 Ultimate SPなし, SP1	Intel® Pentium® III 1GHz 以上の プロセッサ推奨	1GB 以上推奨	
	Microsoft® Windows® XP Professional SP2, SP3	Intel® Pentium® III 865MHz 以上の プロセッサ推奨	512MB以上推奨	30MB以上の 空き容量が必要
ADクライアント	Microsoft® Windows Vista® Enterprise SPなし, SP1, SP2 Microsoft® Windows Vista® R2 Standard Edition SP1, SP2 Microsoft® Windows Vista® Ultimate SPなし, SP1, SP2 Microsoft® Windows® 7 Professional SPなし, SP1 Microsoft® Windows® 7 Enterprise SPなし, SP1 Microsoft® Windows® 7 Ultimate SPなし, SP1	Intel® Pentium® III 1GHz 以上の プロセッサ推奨	1GB以上推奨	
	Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition SP1, SP2 Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition SP1, SP2 Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition SP1, SP2 Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition SP1, SP2 Microsoft® Windows Server® 2008 Standard Edition SPなし, SP2 Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise Edition SPなし, SP2 Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard Edition SPなし, SP2 Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise Edition SPなし, SP2	Intel® Pentium® 550MHz 以上の プロセッサ推奨	256MB以上 (512MB以上推奨)	30MB以上の 空き容量が必要
FENCE-Mail	Red Hat® Enterprise Linux® E5(v.4 for x86) Red Hat® Enterprise Linux® 5(for x86)	ハイパースレッディング・テクノロジー対応 インテル® Pentium® 4 プロセッサ631(3GHz / 2MB)以上 (i386およびその互換CPU)	1GB以上 (2GB以上推奨)	10GB以上の 空き容量が必要
FENCE-Works	Red Hat® Enterprise Linux® 5(for x86)	ハイパースレッディング・テクノロジー対応 インテル® Pentium® 4 プロセッサ631(3GHz / 2MB)以上 (i386およびその互換CPU)	1GB以上 (2GB以上推奨)	10GB以上の 空き容量が必要

注:旧OS、英語版OSに対応した製品もあります。詳細については、当社営業担当にお問い合わせください。

注:FENCE-Mailでは、メールの流量により動作環境の個別見直しが必要となります。詳細については、当社営業担当にお問い合わせください。

名称	対応OS	CPU	メモリ	HDD
FENCE-Explorer	Microsoft® Windows® XP Home Edition SP2, SP3 Microsoft® Windows® XP Professional SP2, SP3	Intel® Pentium® III 350MHz 以上の プロセッサ (Intel® Pentium® III 865MHz 以上推奨)	256MB以上 (512MB以上推奨)	50MB以上の 空き容量が必要
	Microsoft® Windows Vista® Home Basic SPなし, SP1, SP2 Microsoft® Windows Vista® Home Premium SPなし, SP1, SP2 Microsoft® Windows Vista® Enterprise SPなし, SP1, SP2 Microsoft® Windows Vista® Business SPなし, SP1, SP2 Microsoft® Windows Vista® Ultimate SPなし, SP1, SP2 Microsoft® Windows® 7 Home Premium SPなし, SP1 Microsoft® Windows® 7 Professional SPなし, SP1 Microsoft® Windows® 7 Enterprise SPなし, SP1 Microsoft® Windows® 7 Ultimate SPなし, SP1	Intel® Pentium® III 1GHz 以上の プロセッサ推奨	1GB以上推奨	
	Android™ 1.6, Android™ 2.1, Android™ 2.2, Android™ 2.3, Android™ 3.0 Windows® Mobile 6.1 Professional Windows® Mobile 6.5 Professional	—	—	—

ダウンロードサイト <http://www.bsc.fujitsu.com/services/fence/fenceexplorer/>

注:日本語OSのみサポートしています。

注:WindowsXPは32bit版のみサポートしています。その他、特に明記していないOSは64bit版をサポートしています。

## 運用要件に応じたセキュリティ対策を実現する FENCEシリーズ

### FENCE-Works 持ち出し承認

電子文書の持ち出しについては各企業にて様々なセキュリティポリシーが制定されています。しかし実際には、現場の意識不足や運用負荷等の理由によりそのセキュリティポリシーが守られていないという問題があります。FENCE-Worksは、電子文書の持ち出しに関する申請、承認、暗号化、持ち出し、持ち帰り、ログ管理までの一連の運用をシステム化、運用負荷の軽減と、セキュリティポリシーに則った運用の徹底を実現します。

### FENCE-SVP 暗号化ライブラリ

FENCE-SVPは、メモリ上に格納されているデータの暗号化・復号を行うためのライブラリです。データの秘匿などを必要とするシステム構築(ユーザーアプリケーション)を支援するものであり、暗号化に関する専門的知識がなくても使えるように数々のAPIで暗号化機能を提供しています。

### FENCE-Mobile スマートフォン対策

FENCE-Mobileは、Windows Mobile搭載スマートフォンの内部データの暗号化、デバイスやソフトウェアのアクセスコントロールを実現するソフトウェアです。さらに、スマートフォンのほか、ノートパソコンやタブレットを含めたモバイル端末のセキュリティ設定をクラウドサービスによって一元管理するFENCE-Mobile RemoteManagerも提供しています。スマートフォンやタブレットの普及が加速する中、ビジネスでの利用が目立っている反面、紛失や盗難といった情報漏洩のリスクが潜んでいます。両製品によりモバイルシーンでの安心・安全なビジネス基盤の構築が実現できます。

### FENCE-Delete リモート消去

ノートPCなどが盗難/紛失した場合には、パソコン内に保存されている重要データは、第三者によって容易に取り出されてしまうのが実情です。FENCE-Deleteは、盗難/紛失したパソコン内のデータをリモート指示により消去。データの外部流出を防ぎます。

### FENCE-AP 認証

USBキーを用いた本人識別により、PCの不正利用を防止し、権限に応じたアクセス管理統制を可能にします。監査証跡となるログの管理が重要視される今日、認証基盤の強化は、情報セキュリティの重要な課題です。また、PCの盗難・紛失や社内で離席する場合にも、第三者による不正なPC操作を防止します。

### FENCE-G 持ち出し制御

企業の重要データの漏洩は、その多くが内部関係者によるものだというデータがあります。その対策のひとつは、PCからの重要データの持ち出しを未然に抑止する方法です。例えばUSBメモリなどの外部デバイスへの記録、メールの添付ファイルなど、これらの持ち出しを制限することで、「機密情報を持ち出させない」体制が整います。FENCE-Gは、業務レベルの役割に応じたアクセス権限を設定し、必要最低限の権限で堅牢なアクセスコントロール基盤を構築します。



注:動作環境については2011年7月1日現在のものです。最新の状況は当社HPをご参照ください。

※Microsoft、Windows、Active Directory、Internet Explorer、Outlookは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国の登録商標です。

※会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

## 株式会社富士通ビー・エス・シー

パッケージ&サービス本部

〒135-8300 東京都港区台場2-3-1 トレードピアお台場  
Tel:03-3474-9525 Fax:03-3570-4070  
e-mail: spinfo@bsc.fujitsu.com  
<http://www.bsc.fujitsu.com/>

本カタログの内容は、予告なく変更される場合があります。2011年7月制作

ANI006-01